

# WACATE マガジン Magazine

## Vol.32

### 🌿ご挨拶🌿

WACATE-Magazine をご覧の皆様、こんにちは。  
WACATE-Magazine 編集部です。

いやー。日差しが本格的になってきましたね。  
そんなみなさんに涼しげな一枚を  
おとどけます。

【写真提供:kyuuminさん】



暑いと思っている方もいらっしゃると思いますが、  
今月はお待ちかねの  
アツい WACATE 2011 夏のレポートです！

暑くて熱くてアツい二日間を  
是非、ご覧くださいね！

WACATE-Magazine vol. 32、  
はじまるよー！

### 🌿お品書き🌿

#### 【特集 1】

WACATE 2011 Summer レポート！

#### 【特集 2】

JaSST' 11 Kansai レポート！

#### 【コラム】

WACATE 2011 夏 BPP 受賞者レポート

#### 【リレーコラム】

Software Test Topics

#### 【連載】

ミュージカルに恋して

#### 【連載】

源太郎のソフトウェアテスト占い

#### 【連載】

今月の STAR☆

#### 【あとがき】

### 🌿WACATE Topics🌿

ManiaX vol.5 頒布しました♪



# WACATE 2011 Summer

～誰がためにレポートはある～のレポート

◆◆◆ WACATE 2011 夏! ◆◆◆

さる6月25～26日、やってきました!

## WACATE 2011 夏!



皆さんの日頃の行いが良いおかげで、一日目は天気に恵まれ、とっても良い景色でした♪

もう1カ月以上が経つ、と考えるか  
まだ1カ月しか経っていない、と考えるかは皆さん  
次第! w

参加された皆さんはいかがお過ごしでしょうか?  
^^

そろそろ落ち着いてきたころに写真を見て色々  
思い出していただきましょう!



WACATE 2011 夏! レポートのはじまりはじまり～～  
～～

今回の受付はイケメン×イケメン×美女! という  
ことで、実は「メインセッション」の実行委員で  
した★

参加費を払って資料を受領する。  
少しだけ緊張するも、ドキドキワクワクする時間  
ですねー♪



そして、皆さん揃ったところでWACATE 実行委員の  
奥村さんからの挨拶が。



「これより、WACATE 2011 夏、誰がためにレポート  
はある、と開催します」

厳かに開会が告げられました。



## ■オープニングセッション

そして厳かにオープニングセッションが…



…ってアレ？w

猫耳で登場したのは久しぶりに実行委員として登場することになった”さわちょ”こと実行委員の澤田さん！

オープニングセッションを担当するのは初めてですが、最初からアイスブレイクの一環として身体を張ってくれました！w

さわちょから注意事項を…という前に、実行委員長から挨拶を…



とココで甚平タオルに猫耳で現れたのは我らがスター☆やまさき実行委員長。

参加への謝意、そして「活発な議論を」、とカッコはともかくお話は真面目です！（当たり前）

さわちょから優しい言葉で注意事項、そして「WACATEの過ごし方」を聞き終えた頃には、参加者の皆さんも少し緊張が解けた様子でした。

## ■ポジションペーパーセッション

さあ、WACATEの過ごし方も聞いたところでWACATE恒例となった名物・ポジションペーパーセッション！

今回の司会は新実行委員となったうえださん。  
※ご存じMagazine編集部員でもあります！



ポジションペーパーセッションは参加者が持ち寄った「ポジションペーパー」という立場表明書をもとに、自己紹介で「自分の立ち位置」をプレゼンするセッションです。

これによって参加者同士の交流を促進します。  
そしてそれをファシリテーションするために、毎回セッションオーナーは…



こーんなカンジでアフロを装着！  
見てください。このドヤ顔w

初めてのセッションオーナーですが、堂々としたファシリテーターぶりでした。

そして参加者はアフロが操るゴングをもとに、参加者同士で自己紹介をしあいます。

なぜ、どんな想いを持って参加したのか。

何を持って帰りたいのか。

…各人が参加する目的をプレゼンし、理解しあいます。

終わるころには、すっかり皆さんからは笑顔があふれ、周りが仲間になった感覚がありました。

## ■BPP セッション

### 「自分」を研究する

～自己のスキル・動機を見つめ直す～

水野 昇幸氏



前回の Best Position Paper 賞受賞者の水野さんによる、熱いセッション！

自分を研究する。自己のスキル・動機の見直しの大切さを発表していただきました。

関西だとすぐ「すべる、すべらない」という話になりますが、お手柔らかにお願いしますw

WACATE をすらすら言える

スキルをスッキリした形にする。  
スキルと動機の2点を切り口にして、整理する。  
成長の方向性を決める。  
やりたいことを明確にする。

#### スキル編

自分の能力を意識する。

#### 動機編

自分の内面を意識する。

#### ○スキルの見える化

ゲームみたいなパラメーターにしてみる。  
スキル標準 (ITSS など) を参考に。

ハーバードビジネススクールのカツ先生のテクニカルスキル、ヒューマンスキル、コンセプトチャルスキルなど、分類はいっぱいある。

なので、自分のスキルを考えるのに、どうしたらいいのだろう？

自分の目的にあったスキル分類を行う。

自分の現状を明らかにする、成長の方向性を明確にする。

→My Skill Sheet としてまとめる。

ポジペも同じ形式で書いています。

#### ○MySS + Will

興味や意思がわかるほうが、役に立つのかなあ  
「自分のために作る」

Will が止まると成長が止まる。

一回作っておわりじゃなくて、バージョンアップさせていく。

「目的」だけは忘れないようにする。

→実際に言葉や形になる。

見える化をするので、自分は今これから、まずこれを学びたいということに優先順位をつけることが出来るようになる。

各項目に対して、他の人と比較することが出来る。ただ、MySS などでは、計れないスキルがある。

#### ○コンピテンシー

##### 強い動機と弱い動機

最初に「背筋のばしてください」っていったこと、続いているかな？

もし続いていないなら、弱い動機なのかも。

動機や価値観を考えることが重要。

「楽しんでやってる」

##### 動機や価値観の考え方。

価値を考える→形容を考える

自分の価値を見つけるための問いは、魅力的な人はどんな共通点があるかを考えてみる。

資産の棚卸しは、MySS

意識的にダメなことに気づくことができるのか？  
ダメなことをしていることに気づかないのか？

計画された偶発性理論 (Planned Happenstance Theory)

「幸運とは、偶然と機会がであったことである」



何もしなくても、リスクはやってくる

キャリアセルフリアイアンス

動機がスキルを成長させる。  
これは、年齢に関係なく出来る。

スキル編  
スキルを明確にして自分の方向性に気づかせる

動機編  
自然に行動におこせるように、

TFD  
最後に、どのような試行で考えだしたかをまとめる。  
半年で20冊くらい読んで、まとめています。

## ■セッション2 「ワークショップの前に」

坂 静香 (WACATE 実行委員会)



今回のメインセッション「インシデントレポート改善ワークショップ」のスタートです★

..でも、いきなりワークショップを初めても... っというこ  
とで、メインセッションの  
全体像の説明のセッションが行われます♪



## ■全体の流れ

WACATE2011 夏は、1つのテーマを深く掘り下げて、じっくり

議論したりする主旨になります。  
きっちり一時間ごとにセッションがわかれているわけではなく、**議論が中心**。

ってことで、一日目はどういったことをやって、二日目はど  
ういったことをやるかっていう  
流れの説明が行われます。

一日目に行う内容はというと、...

- ・チームビルディング
- ・問題のレポート提示
- ・よいインシデントレポートとは何か?
- ・改善提案に対する成果物
- ・実際に改善する

そして、二日目に行う内容はというと、...

- ・発表準備
- ・発表

## ハードなスケジュールですね!!

問題となっているインシデントレポートが提示されて、  
そのインシデントレポートを改善することが今回のメインセ  
ッションになりますが、  
この改善というのが難しいところです。

なぜなら、**インシデントレポートに関わる人間はいろいろ  
いるからです。**

テストチームのメンバーやリーダー、開発者、マネージャー、  
他の部署などなど、  
開発者が読みやすかったり、理解しやすかったりするレポー  
トが、マネージャーにも読みやすいとは限らないし、**みんな  
がほしい情報**を集めると、書くのが大変になる。。。

## 「何をもちて改善とするか」

これってまさに今回のWACATE2011夏のサブタイトル「誰がた  
めにレポートはある」ですね。

実際にレポートの改善に取り組む前に、「**どういったことを考  
えればいいのか**」がこのセッションで伝えられます。

- ・インシデントレポートは様々な立場の人が読む(読み手が  
いろいろ変わる)
- ・インシデントレポートがプロジェクトでどのように貢献出  
来るかを考える
- ・改善で得られる効果とは何?を考える

そして大事なことは、ワークショップを通じて、班のメンバ  
ーでディスカッションすることで、**より幅広い視野を得る事**。

## ■WACATE 抽選クン

さてさて、今回もWACATE コーポレーションが舞台となります。  
そして、私たちはエンプラ開発センターに所属しています。  
そんな中で社内用に開発した抽選を行うアプリケーション  
「WACATE 抽選クン」を開発したのですが、どーやら**バグ修正  
の進捗が滞っている**とのこと、...



ということで、この「WACATE 抽選クン」のインシデントレポートが改善対象のものになります！！

どんなレポートの内容なんですか？？

それは、**午後から行われるメインセッションのお楽しみ♪**



実際に改善対象のインシデントレポートを見て、議論してもリアリティがないなあ...

ということで、今回は、なんと「**テスト対象**」があります！！

実際に「WACATE 抽選クン」がある！！

実際に発生する不具合がインシデントレポートにはどう書かれているのか？

動くものがあると、**めっちゃ分かりやすいですね！！**

ってということで各班に一台ずつ、、、ではなく、共有して使う事になります。

テスト対象を使えるのは、各班 10 分だけ。

これは、**時間配分が難しそう...**

「最初のうちに触っておくべきか」「ある程度議論がまとまったときに触るべきか」「誰がテストを実施するか」

これはじっくり考える必要がありますね！！、でも、あんまり時間はないけど。。



### ■チーム名決め

メインセッションが始まるまでに各班で行うことがあります。

「チームビルディング」と「チーム名」を決めることっ！！

誰が何を担当するのか、リーダーは？サブリーダーは？議事録は誰がとる？

それで、ウチらの班の名前はどーしよっか？

実は、この班の名前を決めるのって、けっこう時間がかかったりするのです ♪

「好きな動物の名前にする？」「三浦海岸にちなんで」「どこ出身？」...

かなり発想が発散してしまうのです。

ってことで、**チーム名はお昼ご飯を食べながら、お昼休み中に決めましょ〜♪♪**

(うえだ)

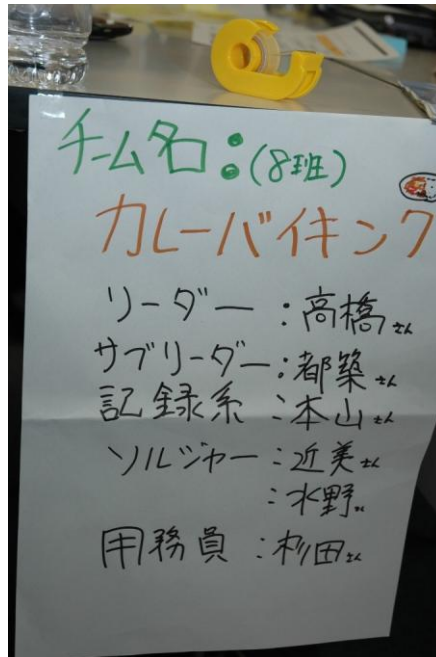
### ■ランチはカレーバイキング♪

ランチにカレーバイキングを指定できるという情報があったので、今回のランチはカレーバイキングにしました。

午後のディスカッションのためにパワーをつけてもらえるように、たくさん食べてもらえるように！



とゆー訳でこんなチームもできてしまいましたw





## ■ワークショップ

### 「インシデントレポート改善ワークショップ」

午後からは抽選クンのインシデントとにらめっこをしながら、まず個人で改善が必要と思われる点を上げていきます。

実行委員が知識を総動員して作成した「ダメダメレポート」の前に参加者の皆さんが途方に暮れる様子が伝わってきましたw

主に付箋を使って問題点をあげていきます。



ひとつひとつ丁寧にあげていきます。



最終的にはこんなカンジ↓に…。



そしてたくさんの問題点をあげた後は、どうあるべきなのか、をディスカッションします。

そして、それと並行にダメなインシデントレポートが本当は何を伝えようとしていたのかを確認する必要があるため、抽選クンの実機！を予約する必要があるし、そのスケジュールリングもしなければなりません！



時間割りなどをどうするのか、チームのみんなで相談します。

1日目にゲストとして来てくださった野中先生が温かく見守ります。

そして実機の順番決めはなんと…くじ引き！  
ホワイトボードに実機使用時間が明示されます。  
しかもたったの10分！





ばん部長にスケジュールの承認を得るためにリーダーはスケジュール表を提出します。



プロジェクトマネジメントみたいな作業ですね♪

そして実機を使って確認！  
インシデントは何を伝えたかったのか。その内容を理解したうえで、改善点を考えます。

こういう意味なのではないか？こうすると…



皆さん、真剣に再現確認をします。



再現テストが一通り終わったあとも、ディスカッションは止まりません。

伝えたかったことはわかるけれども、それをどうやって改善するのか。  
また、改善度合いを示す指標をどうすべきなのか？  
話題は尽きません。

そして、一日目は終了のベルがなりました。  
明日は今日やったこと、考えたこと、皆の意見をまとめて提案資料の作成だ！  
その前に、まずはお風呂とご飯♪

### ■ディナーセッション

WACATEのディナーはなんとセッションになっております！  
単に食事をするだけでなく、講師が登壇するれっきとしたセッションです！

そして乾杯の音頭取りに現れたのは…  
クロージング講師の森崎先生！



「私から言いたいことは3つあります。」  
と最初から笑いをとりにきましたw



豪華な海の幸です♪おいしそー♪



まさにディナー！というカンジです。



我らがスター★もお酌をついで回ります。  
ワークで勉強して楽しんだあげくにスター☆にお酌していただける！これだけでも超豪華！



そして料理を食べ終わりしばらくすると…  
ディナーセッションの始まりです。



「タカシとリュージのオールナイトニッポン！」  
WACATE への意気込みや WACATE で得たもの、などを  
参加者からの声を皆さんに紹介しながら、話を広げ  
ていく？ことで食事を楽しみながらいろいろ考  
えることができるセッションです！

そしてしばらくすると実行委員による出し物で大  
盛り上がり！w  
勉強で頭を使ったあとは、思いっきり騒いで笑って、  
頭をリセットしてもらわないとネ！





### ■夜の分科会

そしてディナーが終わると少しお酒が入ったあとに気の合う仲間じゃべりまくる、分科会の時間です。分科会の会場は別会場で、ここでおつまみを持ち寄って、語りたいテーマを語ります。



こちらは…その日に突発発生した分科会ですね。テストアーキテクチャやスーパクレーの話、要求の話をしていました。



### 「初心者さんイラッシャーイ」

テーマなど、どこに行けばよいのかわからないけれど、とにかくテストの話がしたい！という方はこちら。今回は初参加の方が多かったのでここも大変な盛り上がりでした^^



こちらは参加者の持ち込み企画

### 「バグ票 (ひょ) にまつわるエトセトラ☆」

バグ票のアンチパターンを集めて発表したりなど、よりよいバグ票とはなにかについて検討していた分科会です。



### 「テストと数学」

ソフトウェアテストには数学の考え方や応用できることが多いよね！ということ語る分科会です。

※



こちらも参加者の持ち込み企画

### 「テスト設計 対 要求仕様を考える」

BPPセッションで発表を行った水野さん発案の分科会です。





ほぼ全員参加で23時までテストの話をお酒まじりに話す。朝から晩まで濃いテストの話ができるのはWACATE以外に今のところ無いのではないのでしょうか。

そして、一日目の夜は更けていくのでした。



### ■モーニングセッション

「欠陥エンジニアリング技術：欠陥DBの重要性」

日本 IBM 細川 宣啓氏



やってきました。われらがアニキ、細川さんのセッションです。

前回のJaSST'10 Hokkaidoから一貫して活動をされている欠陥エンジニアリングの話。

欠陥エンジニアリング、という言葉は実は細川さんの造語とのことでした。

病気って何？という切り口で、病気についての話が出てきます。

そしてそれを欠陥になぞらえる細川さん。とてもわかりやすい比喻の言葉の数々が生まれました。

そして欠陥の考え方と病理学を比較し、類似点を説明しながら

「欠陥の形がわかることのメリット」を説きます。

「持論ですが、バグは属性の集まり。」という言葉が印象的でした。

バグって何か？→コンピュータの病気である。

### ◆◆◆ 26日 ◆◆◆

二日目の朝は貴重なゲストが。

なんと細川さんが親子で遊びにきてくれました。



二日目の朝にはすっかり皆さん打ち解け、昨日の健闘をたたえ合うように笑顔です。

一番リラックスしている時間かも知れませんね。





欠陥の写真が撮れば、形が明確になった時点で病気を確定できる。

これは病原菌の形と同じこと、という説明に共感するとともに、難しそうだという印象を受けました。

それもそのはず、欠陥DBを始めている細川さんが一年間もの間、分類に悩んでいて、まだ議論中とのこと。

野中先生、にしさん、細川さんで議論しても意見がまとまらずバラバラになるそうです。

欠陥というものの奥深さを感じました。

最後に細川さんはこう言いました。

「病気を知らないヤツは医者じゃない。  
欠陥を知らないヤツはテスターじゃない。」

「テスターとしてメインになりたければ  
ユーザを意識してひとつひとつ、やっていってほしい。」

朝の寝ぼけ眼も吹っ飛び、参加者にとってもりフレッシュになったように思います。

なお、もう少しで project フェアブルが募集されるそうです。

興味のある方は是非参加してみてもいいでしょうか。

(コヤマン)



## ■ワーク

二日目のワークは午後からの発表のために、改善提案をまとめる作業です！一日目にみんなで考えたことを一つのアウトプットにまとめます。



昨日やったこと、考えた改善提案、それをどう伝えるか… 昨日の一日を一つの資料に凝縮させるために、全員が力を合わせて資料作りに取り組みます。



## ■2日目ワーク発表

いよいよ発表の時間！ **各班 XXX 分で発表し、XX 分の講評を聞く形式でした。** 講評は、クロージングセッションご担当の森崎さん、ゲストの辰巳さん、WACATE 実行委員の鈴木さん。発表には、ワークショップの課題である本部長への改善提案だけでなく、案を作成する中で工夫した点や感想も盛り込まれていました。発表内容の一部を、ご紹介します（発表順）。

## ■6班 発表

・レイアウト変更や書き方のルールを提案。例えば、開発者、テスター…など**それぞれの役割が必要なフィールドにわけていました。**

・異文化コミュニケーションが大変、という、会社や立場が異なる人たちとワークをする WACATEらしい感想も発表されていました。

## 講評（森崎さん）

・入力項目を減らす話は簡単に効果が得られる、といったお話がありました。また、この改善をやると何がよいのか、は答えられるようにしておきましょう、というアドバイスも頂きました。



## ■7班

### 発表

- ・ **なるべくシンプル**にという方針で改善をしたそうです。
- ・ インシデントレポートが改善されたら、その効果はターンアラウンドタイムや現場へのアンケートで確認することも提案されていました。

### 講評 (辰巳さん)

- ・ 職場に持ち帰ることができる内容がいっぱいあったのでは、というコメントを頂きました。

## ■5班



### 発表

- ・ フォーマット改善として、バージョンやステータス、担当者、重要度、優先度の追加を提案しています。重要度や優先度を入れるように変更すると、どこから手をつけるべきかわかりやすいそうです。

### 講評 (鈴木さん)

- ・ 変更することによる効果を提示していたのがよいというお話や、ワークショップのお題になったインシデントレポートにはこの提案だけでは改善できないものもあるのでは、といった講評を頂きました。

## ■4班



## 発表

- ・ 開発者、テスター、管理者、全員が**ハッピー**になれるようなものを、という視点で提案を考えたそうです。
- ・ 修正や流用など行数に着目したメトリクスで改善効果を提示していました。

### 講評 (森崎さん)

- ・ **インシデントレポートの再利用**に着目していたのはよい、行数を使ったメトリクスについてはまずはインシデントレポートの中身ありきでその後に行数など見るのがよい、といったことを話されていました。

## ■3班



### 発表

- ・ **「Clean Document」** というキーワードを挙げていました。プログラマの間で言われる **「Clean Code」** という言葉を踏まえたもので、無駄を無くしてストレートに伝えようという提案です。

講評でも、キャッチーでよいと言われていました。

- ・ ワークショップでお題として提示されたインシデントレポートは、仕様なのかユーザビリティなのか曖昧、テストの根拠がないといった問題があると指摘しました。

### 講評 (辰巳さん)

- ・ 本部長の立場から考えると問題と対策の関連を整理してもらえるとより伝わりやすいという助言を頂きました。

## ■1班





## 発表

・項目を並び替えるフォーマット改善の提案がありました。実際に、出荷判定に関わると判断したインシデントレポートの書きなおしも実施したそうです。

・リーダーとサブリーダーがみるみる成長していった、というワークショップらしい感想も発表されていました。

## 講評（鈴木さん）

・改善後のレポートフォーマットは書く量が増えたとの指摘がありました。これの対応として、星印をつけて必須記入の箇所を分けて対応したとのお話が発表者からありました。

## ■8班



## 発表

・現状のインシデントレポートは、入カインシデントレポートの解説に時間がかかる、など、**時間ももったいない、と具体的によいくない点を挙げていました。**講評でも、「時間ももったいない」という報告は相手に響きやすい、というコメントが寄せられていました。

・受領日時や再現性などの項目追加の他、追加提案として構成管理の強化も提案していました。

## 講評（森崎さん）

・よかったこととして PFD を書いたことがよいというお話がありました。**PFD を書くことで、みんなでやることを把握し管理の手間を短縮することができる**とのことでした。

## ■2班



## 発表

・この班では、読み手のことを考えて項目の取捨選択と配置を考えたそうです。テストベースやテストケース ID を追加する、タグを追加して検索できるようにする、といったことが挙げられました。

・**テストチーム教育の提案**もありました。

## 講評（辰巳さん）

・発表内容が整理されていた、本部長に言う内容かどうかという点はもっと掘り下げてほしい部分もあった、といったお話がありました。

最後に、講評者の皆さんと、発表をゲスト席から御覧下さった清水さんによる全体講評。アドバイスが織り込まれた講評を数多く頂きました。この中で、何名かの方が**この日得たことや議論を現場に持ち帰りましょう**、というお話をされていました(^-^)



## ■発表の裏側では…

我らがスター☆がベストポジションペーパー賞の副賞である「ミニ地球儀」に、スター☆オーラを注入していました。



BPP 賞の受賞者が加速していくのは、このおかげかも知れませんね！



## ■クロージングセッション

### 「コミュニケーションとしてのバグ管理」

奈良先端科学技術大学院大学/静岡大学

森崎 修司氏



「ピクトリアルなとかイフェクト」  
→ピクトリアルスペリオリティイフェクトいうところ  
でアイスブレイクから始めた森崎先生。

ビジネスプロセス競争の専門家がデグレを予測  
疲れた人が多いので、5分くらいでやめようかな。。。

と関西ノリの笑いで参加者の緊張を解きほぐしま  
す。

「異常系の比較的大きな仕組みが期待通りに動く  
かシナリオテストしているときの「喜-憂」

・システムテストで、、、対面の場合  
リリース近いときに、、テストと開発の思いと発言  
(イライラ思ってるけど敬語で話す)  
これが文章になると、、、

#### “題名:デグレード”

これを読むと、開発は腹が立つ  
ムキーの理由を若手に聞いてみよう

- ・二行目の入力項目、、;開発者の人がQAの人に  
何がわかるのかって、ムキーとなる。(わかって)
- ・題名がデグレードとなっているところ (わかって)
- ・最初の文章がデグレードを強調している(わかって)
- ・そもそもメールではなく、このレベルのものは  
口頭でいってほしい (わかって)
- ・可能性があり、ってところがイヤ (ベテラン)

「デグレード」「一切」「致命的な」って、、  
そんなのわかるの?  
いま書いてもしょうがないんじゃない?

バグ報告に関する問題はどこでも起こっている

### バグピンポン現象

バグ報告は無視されることもある。  
バグ報告がいたりきたりする。  
→名前が付くほどありがちな状況

#### ・コンウェイの法則

製品の設計は組織のコミュニケーションの構造を  
反映したものになる。商用からオープン(Eclipse  
とか)、もともとオープンソース  
結合度の高いソフトウェア、結合度の低いソフトウ  
ェア。

コミュニケーションの密なところほど、結合度がひ  
くい。エンジニアのコミュニケーションが製品の結  
合度や複雑度に影響を与える。

#### ・商用ソフトウェアでの裏付け

あるDLLを作るのに、どれくらいの組織、部門が関  
わっているか  
さわる部門が大きいほど、コードの品質が悪くなる。  
(コードコンプレキシティとかみるよりも)

組織の構造は製品の品質に影響を与える。  
メトリクスをみるよりも精度が高い可能性がある。

みなさんがいいコミュニケーションをすればする  
ほど、製品の品質を上げることが出来る。

### 問題が起こりやすいパターン (森崎先生の経験)

・バグ以外のことがかかっている

・モチベーションをさげてしまう報告  
やってほしいことだけ明確にかく  
バグ報告なのに、すごいと思われたい。

「理由がかかされていない」「何故?必要?」

#### ・文章の問題

正確にかけていない。

「時間が短く」「フォントが小さい」が関係してい  
ない。依存関係がハッキリしていない。

(書籍)「文章添削トレーニング」←絶版なので  
図書館にいかないとな。

多くは、配慮や文章力、信頼感

まっさらな気持ちで読んで、ちゃんと伝わるかを確  
認する。

いつも否定ばかりしている人のインシデントレポ  
ートは取り上げられないとか。。



・大原則

**バグ対我々**ではなく、**テスト対開発**になっていない？

この原則を守るための質問

お願いするときは、「何故、それが必要であるのかなどの事情を知らせる」

文章の問題

・ what makes a good bug report?

ダウンロードできるので、時間があれば是非報告者と開発者で、重要な情報に違いがある。一部同じ視点になるが、思い違いが8割

バグ票ワークショッププラクティス収集プロジェクト

Webから入力するだけです！

・若手から中堅のみなさんへ

次の時代築くのは我々

今日やったことから明日何をやるか？

お膳立てされていることが当たり前の世代

「お膳立てされているかされていないかで、まず選ぶ」それは、局所最適をしてしまう。

**とりあえず、まずやってみることが大事**

出る杭が打たれる世代

自分がやらなくていい理由があると、やらなくなるもし、自分だったら、、、という発想をする

すぐに出来ることだけをやってしまう。

そこで疲れてしまう。

海外との競争が厳しくなっている。

**我々の付加価値ってなんでしょ？っていうのを真剣に考えないといけない世代。**

日本人の新卒より、中国人の新卒のほうが質がいい。

コミュニケーションの力をつける。

「したたかに変えていく」

『質問コーナー』

Q. 組織とソフトウェアの構造の関連

なんとなくはわかるけど、何故そうなるかがわからない。

A. 考察のレベル、ドキュメントやソースコードに書かれていないことが共有される。

距離が離れてしまうとその部分が共有されない。

1つの指針として、「お昼ご飯をいっしょにいけるか？」っていうのがある。

■そしてクロージングへ。

森崎先生の発表が終わったあとは、スター☆のありがた話。

WACATE 参加者を「はやぶさ」になぞらえて

**「加速して、飛び出してほしい。」**と

スター☆は語りました。

胸が熱くなるスピーチでした。

そしてそのあとは皆さんお待ちかね。

ポジペ3賞の発表です。

**OBiased Favorite Paper 賞**

今回のクロージング講師、森崎先生が選んだポジペは九州から参戦のおわしさん。

**OMost Accelerating Paper 賞**

そして WACATE 実行委員会が選んだポジペは、杉山さん。

**OBest Position Paper 賞**

そして今回の BPP 賞は…！

前回、MAP 賞を取った**名野さん**が見事 BPP 賞を受賞されました。

名野さんには今号の Magazine に BPP 受賞記念として寄稿いただきましたので、皆さんぜひ記事をお読みください♪

ちなみにこちら

<http://gihyo.jp/news/report/2011/08/0801> でも名野さんが寄稿されています！

最後には副実行委員長の小山さんより、写真で作成した動画のプレゼント。

熱い二日間を振り返る写真を音楽に乗せて振り返りました。



■最後は恒例のキメ！



二目を経て更なる加速を！

We are accelerating!!



See you next "WACATE"!

書いた人：WACATE-Magazine 編集部



# JASST '11 KANSAI レポート

JaSST はこれまで東京と東海、北海道に参加してきましたが、関西は今回が初めてでした。開催地によって特色が大きく異なるのが JaSST の特徴であり楽しみでもあります。さらに今回は自動改札機など馴染みの深い製品に関する話も聞けると言うことで、内心ワクワクしながら参加してきました。



## ■止まらない・間違えない・妨げない自動改札機の開発 幡山 五郎氏 (オムロンソーシアルソリューションズ)

### ◆進化する自動改札

コンセプトは**旅客を安全かつ流動を阻害させないように通過させること**。

磁気から IC へと進化した乗車券にも対応するようになり、それ以外にも複数同時投入への対応や省スペース化に処理の高速化など、様々にニーズに応じてきた。

### ◆妨げない自動改札

切符の投入から放出までに**許された時間は約 0.6 秒!** その間に運賃計算や切符の整列、反転、場合によっては複数切符の分離に重ね合わせなどの複雑な操作をこなしている。また IC カードへのタッチ対応、ドアの安全かつスムーズな開閉、タッチ部分や情報表示画面の見えやすさなど、様々な工夫が取り入れられている。

### ◆止まらない自動改札

信頼性アップに向けた、総部品点数の削減や電源復旧時の高速起動、トラブル発生時に問題部分を分離・停止・一つ前のバージョンに戻すなどして被害を最小化する取り組みが紹介されました。

### ◆間違えない自動改札

運賃計算のパターン数は、関東圏(約 3000 駅)で考えると**10 の 40 乗**通りもの膨大な数になる。パターン数が膨張する原因としては、主に以下が挙げられる。

- ・鉄道会社が増えて目的地へ到達可能なルート数が増えたこと
- ・定期券の場合、通勤区間も考慮する必要があること

- ・特に大変なのが割引き、乗り換えなど過去の乗車履歴を遡っての運賃計算が必要になる
- ・関西は割引が多いので大変

10 の 40 乗のテストパターンはとても実施は不可能なので、絞り込みの条件を幾つも適用して現実的に実施可能な数まで絞り込んでいく。絞り込みは大きく 3 段階で行われる。まず自動改札の無い駅などを除く「**安全な絞り込み**」、次に重複パターンなどを除いていく「**妥当な絞り込み**」、最後に駅の同値分割などの「**許容可能な絞り込み**」である。また絞り込みの条件を明確にしておくことは、バグがテストをすり抜けた際の原因分析に利用できるのも重要である。

テスト設計時の目標は、誰でも見落としのないテストパターンを作成できるようになることである。例えば目的の駅に着くまでに起こりえる**乗り換えパターンを予め用意**し、担当者はそのパターンに実際の駅のデータを入力すれば網羅的なテストパターンを作成出来るようにする。

テスト実施時の目標は、より大規模なテストを実施可能にすることである。運賃計算アルゴリズムの検証には、本体とは別に**検証用の運賃計算ツールを作成して突き合わせ**を行っている。検証用の運賃計算ツールを作成することで、テスト時の予想結果を自動生成出来るようになった。また検証用の運賃計算ツールは、本体とは別の開発チームが、異なるプログラム言語、アルゴリズム、制約、参照データを使用して作成している。

上流工程でもテストを実施可能にするため、**形式手法**による仕様書のテストを実施している。従来の仕様書を形式手法で整理する段階でも仕様の曖昧な点や矛盾点が見つかった。また仕様書全てに形式手法を適用するのではなく、仕様の追加や変更部分および疑わしい箇所に絞って適用することで工数を節約している。

テストの実施には、従来実機で行っていたテストを、実機の基盤と PC を組合せることで、**実機レス**でのテストを可能にした。またテスト専用機を用意することで、より大量のテストを実施できるようになった。

### ◆感想

課題に対して真正面から向き合って改善していく姿勢が感じられる、素晴らしい発表内容でした。講演終了後も質問が止まらず時間を延長するほどで、他の参加者の興奮も中々冷めなかったようです。

## ■「元気なら組込みシステム技術者の養成」のご紹介 土井 滋貴氏 (奈良工業高等専門学校)

「元気なら組込みシステム技術者の養成」事業の目的と内容の紹介です。

**地元の社会人を対象に、組み込みシステムを利用した製品の企画、設計、製造までを実施できる技術者の養成を行っていく。**



基礎要素、開発手法、プログラマブルデバイス、メカトロニクス、ネットワークに関する教育を行っている。また技術相談、E ラーニング、交流会等による開発サポートも併せて行っている。

教育は3コースに分かれていて、3年間で3コースが完成する内容になっている。また実践重視の内容で、1コースの学習時間は約60時間だが、その内30時間は実習に充てている。実習時も上級生が実習補助に入り、きめ細かな支援が受けられるように配慮している。

#### ◆感想

中小企業を多く抱える奈良県ならではの魅力的な事業紹介でした。対象者も地元限定だったのが残念です

#### ■「ソフトウェア品質保証責任者の会」発足のお知らせ 宿口 雅弘氏 (SQiP-WEST 準備委員会)

一言で言うと、関東で活動している「品質保証部長の会」の関西版です。また部長相当の職制呼称は各社で異なるので「責任者」として門戸を広く参加者を募集します。

当面の活動は、月一回のセミナーとディスカッションの開催と、その成果発表を目指していく。参加費用は無料なので、品質保証責任者の方達には是非積極的に参加して欲しい。

またソフトウェア品質保証責任者の会運営に向けて、SQiP-West 小委員会をSQiP (Software Qualify Professional) の中に立ち上げました。

#### ◆感想

製品の品質保証には組織のトップからボトムまで団結して進めていくことが重要です。その活動が関西からも発足してきたのですから、関東とお互いに刺激し合っって見事な成果を出して行ってほしいです。

#### ■開発者とテスト担当者に最適なコラボレーションと効率化を！ (Visual Studio 2010の世界観) 長沢 智治氏 (日本マイクロソフト)

ランチを楽しみながらの、Visual Studio 2010 に用意されたテストツールの紹介です。

不具合発生時の報告に動画を利用したり、入力データを変更しながらの繰り返し作業の自動化や、テスト環境の仮想化など、実際にツールを動作させての説明でしたのでとても分かりやすく、多人数でテストを実施するなら必要なツールだと感じました。

#### ■テスト自動化の落とし穴 細川 宣啓氏 (日本アイ・ピー・エム)

同じくランチを楽しみながらの、テスト自動化に関する落とし穴とコツの紹介です。

テスト自動化のメリットには、作業の自動化、属人性の排除、時間投資効果による品質向上が挙げられる。テストを高速・繰返し・正確・夜間などの時間も利用して実施可能になり、これまでテストにかけていた時間を他の作業に割り当てられるようになる。ただしツールを導入して効果を上げるにはいくつかのコツが必要になる。

テストプロセス全体から見ると、**自動化できるプロセスの主流は実行部分**であり、思考が必要なテスト設計や結果分析などの自動化は難しい。実行部分だけを自動化することで最適化しようとしても、テストスクリプトの管理と言った作業が新たに必要となり、思ったほど時間を短縮できない結果となる。そのような場合、「**テスト設計の困難さ**」と「**テストツールの使いやすさ・省力化**」を区別してそれぞれを最適化していくと良い。製品の設計時点で試験性を考慮し、テスト設計を適切に導入することで負担を軽減していく。またテストケース生成をサポートするツールの導入も効果が大きい。

テスト自動化によるメリットが本当に得られているのかは、測定出来ないと不明なままである。テスト管理の地道な実践と、自動化する範囲の選択と集中が重要である。そのためには複雑度などを測定してテスト工数が大きい箇所を特定や、ツールによるテスト管理と追跡の実践などが重要になる。

テスト全体を最適化して行くには、**テストを思考できる専門家の育成が急務**である。思考と作業を分離し、専門家を助けるためのツール導入を考えるべきである。

#### ◆感想

テストの自動化によるメリットの話はよく聞きますが、メリットを受けるために何が必要なのかを紹介した話は珍しく興味深かったです。参加者の皆さんも同様に、ランチを楽しみながらもしっかりと発表に耳を傾けていました。

#### ■ミニワークショップ テスト結果は、まだまだ活かせるのではなイカ！？ JaSST 関西実行委員会

テスト結果である欠陥情報を分類する方法として IBM Research に掲載されている「Orthogonal Defect Classification (ODC: 直行欠陥分類)」を利用した、欠陥情報の整理・分類と傾向調査を行い、改善案まで提案するワークショップでした。ODC を利用することでレポート作成者はそれほど迷わず欠陥を分類し、プロダクトの弱点を推測出来るようになるそうです。

ODC の構成は欠陥報告時の項目と欠陥修正時の項目に分かれ、欠陥を何処のプロセスで発見したか、どのような状況で発生するのか、発生源はどこかと言った情報を、予め用意された項目から選択して分類表に記入していきます。ODC を利用することで、不具合情報の傾向を掴み、改善ポイントの糸口とすることが出来ます。



していくか、身が引き締まる思いでした。

書いた人 おたべ

ODC について一通りの説明を受けた後は、話題沸騰ポットの不具合報告書のサンプルを元に、ODC による欠陥の分類と、欠陥の傾向分析、改善案の作成までを演習しました。

不具合報告書を読み、発見工程はどこか、欠陥の影響はどのようなものか、その内容を ODC の分類一覧から選択して分類結果を埋めていきました。ODC は初めてで何を選択するのか判断するのに迷いましたが、**分類を一から考えるのに比べて容易**な印象を受けました。

またグループでワークショップを受けたのですが、各メンバーの分類結果が様々で、ODC で効果を出すには判断基準をそろえる必要を感じました。改善ポイントを自分の頭で考える部分は難しかったのですが、判断材料である欠陥分類のデータについては分類一覧を見ながら機械的に分類することが出来たので、分類する人と判断する人を分けて作業したら効率的に作業出来そうな印象を受けました。

#### ◆感想

分類は機械的に行えましたが、そこから頭を使って欠陥の傾向や原因の推測、改善ポイントを考えるのは難しかったです。ただし分類方法に慣れば誰でも同程度の分類表が作成できそうでしたので、次に欠陥分析を行う際は ODC を試してみたくくなりました。

#### ■テスト結果や不具合管理票を将来に活かすには？

森崎 修司氏（奈良先端科学技術大学院大学／静岡大学）

テスト結果や不具合管理表の情報を、進行管理やエビデンス作り以外にも積極的に活用した事例の紹介です。

- ・インターネット上から新しいバージョンのプログラムを特定のユーザーに限定して公開したり、調子が悪ければ使えなくする
- ・修正工数の多少の傾向から、不具合の**混入工程を推測**する
- ・欠陥を、修正工数の平均軸と標準偏差軸のグラフにマッピングし、例えば修正工数の平均が大きな欠陥の傾向を不具合管理表から推測しレビュー時の**観点として利用**する
- ・報告者が役立つと考えている情報と、開発者が役立つと考える情報の**違いを分析**し、報告書の改善に役立てる
- ・問題のある報告書の例（**アンチパターン**）を集めて、改善に役立てる

#### ◆感想

テスト結果のこんな利用方法があったのかと驚きの連続でした。大学教授の本領発揮と言ったところでしょうか。

#### ■JaSST '11 Kansai を終えて

全体の印象として、参加者に対して何かを得て帰ってもらおうと言う意志が講演者や JaSST 関西実行委員からよく見える、素晴らしい内容のシンポジウムでした。

次は参加者が如何にシンポジウムで得たものを現場に活か



# WACATE 2011 夏 BPP受賞者レポート

こんにちは！“うえ〇つ”改め“なのっち”です！ ※ようやく本名に近づけた…(-v-;

テストのテの字も知らずに WACATE に飛び込んだ私。WACATE に参加すればするほど、テストに興味湧き、沢山の友人ができ、どんどんモチベーションが上がっていき、ついに BPP 賞をいただけてしまいました！このようなありがたい賞をいただけたのは、これまでの WACATE を作り上げられた実行委員会の皆さま、ご講演いただいた著名な方々、そして参加された皆様のおかげです。本当にありがとうございます(>~く。

WACATE に参加する度に何を書こうか悶々と悩むポジペ…。今回このような貴重な機会をいただけたので、私のポジペができるまでをお話させていただきます！ご参考になれば幸いです。

## インシデントレポートとの出会い

“インシデントレポート”という言葉、恥ずかしながら WACATE に参加して知った言葉でした。“不具合管理票”なるものを書いたことはありましたが、テストで見つかった不具合の概要や原因を数行でまとめ、修正完了時に変更内容を数行メモする程度のものでした。今までの経験を振り返っても、小規模な開発を一人で担当することが多く、作るのは自分テストするのも自分…。テストで不具合が見つかったとしても、そこは自分が作りこんだ不具合…原因や再現手順がすぐ分かってしまうことがほとんど。と、WACATE に参加される周りの方々が日々苦勞されているインシデントレポートの苦勞を体験したことがありませんでした。

## 予習してみる

今まで参加していた WACATE でそんな自分に気づいていたので、今回のテーマを知って「**これはか～な～り～マズイ!?**」と思い、慌てて手元にあったテスト本を予習しました。テスト本には IEEE のテンプレートをベースに、レポートに書くべき項目とその解説が書かれており、読めば読むほど今まで作成していた“不具合管理票”ではダメだなあ…と反省するばかりでした。ただイマイチ実感が湧きません。書いてある内容や各項目の必要性は理解できるものの、何故かシクシクしない。おそらく、今までマトモなインシデントレポートを書いた事が無いため「**へえ～、なるほどお～**」で終わってしまったのだと思います。きっとこのままだと、インシデントレポートに関する知識しか無い状態で WACATE に参加することになり、周りの人と有意義なディスカッションができない!? マズイ! 予習をすることで焦りがいっそう募りました。

## 経験が無いなら書いてしまえばいい!

そう思ったのは、ポジペに悩んでいるときでした。しかも人目につくポジペに書けば緊張感もある。うまく行けば誰かからダメ出しももらえるかも!? よし今回のポジペはそうしよう…と、今回のポジペのネタはあっさり決まりました(^-;

ネタは決まったものの1つ問題が…インシデントレポートを書くためにはテスト対象物と不具合が必要です。でも仕事の内容を書く訳にはいかないし、趣味でテストもやってない…。これは困りました。

そこで思いついたのが自分の失敗談。つまり…「テスト対象物は自分」、「不具合は自分の失敗」、というわけです。試しに勉強会に遅刻したときの失敗談をインシデントレポートに書いてみました。すると、何を書けば良いか? どう書けば良いか? わからない項目がいくつか出てきました。やはり本を読んだだけでは理解しきれていないところがあったようです (**書いて良かった♪**)。



一通り書いたところで読み返してみます。…あれ？…何か…こう…インシデントレポートっぽくないし、難しさが伝わって来ない…何故だろう…。ここで2つの事に気づきます。

(1) 遅刻などのありきたりな失敗談では、他の人も経験したことがあるため、適当にレポートを書いても読み手が理解できてしまう

(2) 不具合はただの失敗談…再現テストと言われても第三者が再現しづらい

ということで、現実味に欠けるのでこれは没。別の案を考えます。

インシデントレポート	
1. 識別番号	nanochi-0001
2. 要約	予定していた電車に乗り損ね、目的地への到着が遅れる。
3. 不具合内容	
a) 入力	目覚まし時計、時刻表、荷物
b) 期待結果	〇〇電車に乗り、11:20に勉強会会場に到着。
c) 結果	予定していた〇〇電車に乗り遅れ、△△電車に乗る。目的地に11:50に到着。
d) 異常	・ 〇〇電車に乗り遅れ、△△電車に乗る ・ 予定よりも30分遅れて勉強会会場に到着
e) 日時	2011/05/15 11:50
f) テスト手順	(1) 8:50起床 (2) 朝食&準備 (3) 自宅を出発 (4) 名古屋駅着&新幹線乗車 (5) 豊橋着&在来線乗車 (6) 浜松着
g) 環境	本人

図 1 インシデントレポート（自分の失敗談）

## あるじゃない！身近な不具合

どうやらインシデントレポートを書くなら、製品の不具合を書いた方が面白そうです。そこで思いついたのが、自分のスマートフォン。某マップ機能で現在地が捕捉できない現象が度々起きていました。メジャーな機能でイメージも湧きやすい、発生頻度もそれなりにある、これはポジペにピッタリだ！ということで再びインシデントレポートにチャレンジです。

## あれ？…書きづらい…

スマートフォンのインシデントレポートを書き始めると、すぐに指が止まりました。先ほどとは違い、どう書くべきか悩むところが多々あったのです…。

例えば、

「指でタッチするボタンや画面のアイコンの正式名称は何と呼ぶのだろう？」

「テスト手順は何処まで細かく書けば良いのだろう？電源ONから書くべきなのかな？」

「再現性ってどう表現するべきなのだろう？確率？回数比率？3段階表現？」

などなど。



あまり時間も無いので、すぐに調べられそうなところは調べて、分からない箇所は自分なりに解釈して書いていきました。

インシデントレポート	
1. 識別番号	is04-st-gps-0001
2. 要約	GPS 通信の設定を OFF→ON に設定し、Google マップを起動しても現在値が更新されない。
3. 不具合内容	
a) 入力	ホームボタン、タッチパネル（電源管理ガジェットの GPS 設定、Google マップアイコン）
b) 期待結果	Google マップ起動時に GPS 通信（画面上部に GPS 通信中のアイコンを表示）を行い、現在地更新ボタンを押すと現在地を更新する。
c) 結果	Google マップ起動後、現在地更新ボタンを押しても「一時的に現在地を検索できません。」というエラーメッセージを表示し、現在地を更新しない。
d) 異常	<ul style="list-style-type: none"><li>Google マップ起動時に画面上部に GPS 通信中のアイコンが表示されない</li><li>エラーメッセージ「一時的に現在地を検索できません。」表示後、約 1 分放置し、現在地更新ボタンを再度押しても、同じエラーメッセージを表示</li></ul>
e) 日時	2011/04/16 12:15
f) テスト手順	<ol style="list-style-type: none"><li>電源管理ガジェットの GPS 設定を OFF→ON</li><li>Google マップアイコン押下</li><li>Google マップの現在地更新ボタン押下</li><li>Google マップを終了</li><li>電源管理ガジェットの GPS 設定を ON→OFF</li></ol>
g) 環境	XXXXX Phone XXXX（実機、シリアル番号：xxx）、屋外（周囲に遮蔽物無し、天候：曇り）

図 2 インシデントレポート（スマートフォン）

結局、2 時間くらいかけて 1 枚の A4 用紙のレポートが完成。思った以上に時間がかかってしまいました(^\_^; テスト屋さんは毎回こんなに大変なものを書いているのでしょうか。私の場合レポートを書くだけで 1 日が終わってしまいそうですorz。慣れ・・・というものだけでは無い気がします。もしかすると専用のツールか何かがあって効率化を図っているかもしれません。これは今度の WACATE に出るのがますます面白くなってきました！

読み返してみても実際の不具合内容が書いてあるので、それっぽい内容です。良く分からなかったところは吹き出しでコメントして、メモしておきます。あとはポジペということでネタをちらほら散りばめて完成(^3^)でもフィクションではありません。全部リアルに起きたことです！※何のことが分からない方は私のポジペを読んでいただければ幸いです(涙

### WACATE に参加して新たに気づいた

ポジペを使って予習と実践を行い、インシデントレポートに対する疑問を沢山もった状態で参加した今回の WACATE。熱い 2 日間で沢山の気づきを得ることができました。



例えば

- 「**ボタンやアイコン等の名称は括弧をつけて表現する**(再現手順が見やすくなる)」
  - 「**再現手順の最初に、不具合に直接関係する箇所をシンプルに書く、それ以外は別の欄へ**(ぱっと見て再現手順の概要が理解できる)」
  - 「**インシデントレポートは誰にとっても嬉しくなければならぬ!**」
  - 「**インシデントレポートを書く目的は不具合の除去だけではない!**(例: 欠陥マスターDB)」
- などなど。

また、本に習って書いたポジペのインシデントレポートもまだまだのようです。

- 「**管理職にとって嬉しくない**(不具合対応のステータスが良く分からない)」
- 「**太字の強調表現は NG**(レポートの時点で主観的な判断をしている)」

といったことがグループディスカッションを通して分かりました。

今回はポジペのおかげで、予習の際に実際に頭や手を動かすことが重要だと実感できた WACATE となりました。ポジペのネタに悩んだときは予習も兼ねて何か成果物を作ってみてはいかがでしょうか。結構オススメですよ!

### おわりに…私にとっての WACATE

WACATE に飛び込んで早 4 年。自分がからりと変わりました。社外の沢山の方々と知り合い、モチベーションの高さに驚かされ、自分も負けてられない! と積極的に行動するようになりました。特に変わったのがモチベーション。初期のころは WACATE に参加するとモチベーションが MAX まで上がるものの、時間がたつにつれて下がってしまう日々でした。ところが最近タスクが山積みなのもあって、モチベーションが上がりっぱなし!! 一体どうなってしまうのやら…。ひとまずいけるところまで加速し続けますヨ(≧▽≦)

書いた人: なのっち



# Software Test Topics

こんにちわ♪

池田です～

毎日あつすぎる日が続いてますね～

7月下旬は結構ひんやりしていましたが、8月になった途端にこれですよ！

そんな8月は夏期休暇の季節ですがみなさまいかがお過ごしでしょうか？

日頃行けないところに遊びに行ったり、帰省したりとなにかと炎天下の中の移動が発生するかと思いますが、くれぐれも熱中症だけには注意ですよ～

さて、そうした長期連休ですが、勉強や情報収集に使う時間もたっぷりだと思います。

そんなみなさまに今月もお役立ち情報を皆様にお届けしますっ♪♪♪

**【イベント】コミックマーケット 80 にさーくる WACATE が参加します！**

あの伝説、5たび。

<http://circle-official.wacate.jp/>

日時：2011年8月14日 10時～16時

場所：東京ビックサイト 東2 P-28b 「さーくる WACATE」



申込み抽選が高倍率なことでも有名なコミックマーケットですが、な、なんと今回も受かってしまいました！！

ってことで、WACATE は今回の C80 にもサークル参加します！

当日はソフトウェアテストの同人誌の新刊をご用意する予定です。また、当然、既刊をご用意します！

当日は WACATE 実行委員も頑張ってる予定です。是非、皆様サークルスペースまで遊びに来て下さいね！

**【書籍】Software Testing ManiaX vol.5**

伝説の同人誌、5たび。

<http://circle-official.wacate.jp/>

価格：1,500円



WACATE-Magazine 読者の方には既におなじみのソフトウェアテストの同人誌「Software Testing ManiaX」シリーズの最新刊です。

vol.5 ではあの Lee Copeland 氏による記事や、世の中にほとんど情報がない機能図式の記事、「高信頼化ソフトウェアのための開発手法ガイドライン」の読み解き記事など、相変

わらずマニアックにお届けします！

本書はコミックマーケット 80 のさーくる WACATE で頒布予定です。数量はそれほどありませんので、是非とも入手したい方はお早めに！

**【論文募集開始】JaSST' 12 Tokyo**

キミもアナタもチャレンジ！

[http://jasst.jp/symposium/jasst12tokyo/abstract\\_12tokyo.htm](http://jasst.jp/symposium/jasst12tokyo/abstract_12tokyo.htm)

投稿締切：2011年9月26日

来年1月に開催予定の JaSST' 11 Tokyo の論文募集が始まりました。

論文の対象分野はいかのとおりとなっています。

- ソフトウェアテストに関する
  - 技法
  - 実践事例
  - 支援ツールの開発や活用
  - 組織や管理、プロセス、改善
  - 理論
- ソフトウェアの信頼性
- ソフトウェアの品質
- ソフトウェアの安全性
- アプリケーション/ネットワークのセキュリティについてのテスト・評価
- 組込みシステムのテスト
- データベースのテスト
- クラウドのテスト
- アジャイル開発を活用したテスト実践事例
- プログラム解析や仕様解析（仕様に対する静的解析）
- 形式検証
- コードインスペクションの実践

募集内容は以下のとおりとなっています。

- 1) 研究論文  
新規性や有用性のある学術的、技術的な成果。
- 2) 経験論文  
企業などでの実践事例や活用事例、現場でのノウハウや工夫など。
- 3) 事例論文  
企業などでの実践事例や活用事例、現場でのノウハウやちょっとした工夫、問題提起など。

WACATE で得られたことを現場で実践している方もおおいと思います。

この機会に成果をまとめて発表にチャレンジしてみたい方が多いのでは？

こういったところで発表することで、さらに加速できるはずですよ！！



# もう一つのWACATE20011夏

君たちは覚えているか、あの暑い夏を。

君たちは覚えているか、あの暑すぎる冬を。

こんにちは、さーくる WACATE の池田です！  
おそらくもうピンときていると思いますが、**C80 で新刊  
が出ました！**

ということで告知です！

## Software Testing Maniax vol.5

✦ WACATE-Books ✦

### Software Testing "ManiaX" - vol.5 -



【日時】

2011年8月14日 10時～16時

【場所】

東京ビックサイト

東2 P-28b

「さーくる WACATE」

<http://circle-official.wacate.jp/>

## 【目次】

- Software Testing ManiaX vol.5 刊行にあたって / 池田 暁
- A Release Without a Tester/ Lee Copeland
- 論理回路のテスト手法を、原因結果グラフのテストに流用してみた/ 渡辺 亮
- PFD で現場テスト活動を見える化してみよう！/ 水野 昇幸
- TAME におけるテストシナリオデザインの一手法 ～アニメにおける絵コンテを応用して～/ 池田 暁
- Broken Windows, Broken Projects/ Lee Copeland
- 私流レビュー運営とその意味/ 安達 賢二@きたのしろくま
- 誤何故（ごなぜ）とよみがえり/ 陰陽師
- テスト開発方法論有害説？ ～品質評価の視点から発想するテスト設計の提案～/ 辰巳 敬三
- 「設計者との連携で新しい境地へ」～設計者としての立場からの提言～/ 清水 吉男
- あの人のために作るスープカレー 2 辛/ TEF 道 (TEF 北海道ソフトウェアテスト勉強会)
- 改善のミッシングリングを埋めるために/ ぞの目のろ
- All Models Are Wrong/ Lee Copeland
- 「高信頼化ソフトウェアのための開発手法ガイドライン」を読み解く/ 鈴木 三紀夫
- 第2バイオリンを弾く、あるいは脇役に回る/ 第3バイオリン
- テスタのポリシー/ TURUNE & Leaf Green
- できるかな？Excel シークワーズ/ TURUNE & Leaf Green
- 機能図式法 前編/ 秋山 浩一、古川 善吾
- 放射線と過酷テスト/ 二上 貴夫
- 業界炎上化防止のための不具合排出量削減のお願い / 渡辺 亮
- えんじにあすまいる！/ yellowheart
- リリース間隔の短期化とテスト/ 森崎 修司
- 「バグ票について考えよう！」/ バグ票ワーストプラクティス検討プロジェクト
- アジャイルテストとリスクベーステスト ～アジャイルテスト、特にシステムレベルでの悩み/ nagworld
- レビューとテストについて 一雑感一/ 堀田 文明
- Follow the Process/ Lee Copeland
- ユニットテストで支えるコードの保守性/ 井芹 洋輝
- 東日本大震災被災時の水道復旧工事と制御パス・テストの類似性/ 飯泉。
- 「テストの必要性」について考えたときに考えたこと。/ コヤマン
- WACATE 年代記 (IV) WACATE2009 夏 ～はじめてみようテストレビュー～/ 池田 暁

有難うございました！



# 池田暁の

## ミュージカルに恋して。

[第三十二幕] 暑いけど適度な節電を 暑いけど適度なエアコンを

### ♪ あーっーいーっ！

というわけで、これを書いているPCの周りの気温は35℃。夏の暑さにやられながら頑張っ書いております。

7月の下旬は結構涼しく過ごしやすいだったので、ちょっと油断してしまいたら毎日30℃を超える気温が続き、この節電のおりエアコンを止める人もおおいので体調を崩す方もちらほら見かけます。

### ♪ 熱中症になるよりはエアコンを

確かに節電は大切なのですが、そのために無理すぎるのはよくありません。やはり必要なときにはエアコンはつけたほうが良いと思います。

ちなみにうちでは「**常時通電が必要なものの以外は徹底して物理的に電源断しています**」。

私の自宅では常時通電されているのは光ルータ、固定電話、冷蔵庫、HDDレコーダくらいです。その他機器、例えばTVやアンプなどは使うときのみ通電します。スイッチ付きの電源タップに接続しておいて、使うときだけスイッチを入れる感じですね。これをやるだけで月の電気の削減量はかなり大きく、電気料金も数千円レベルで変わります。これだけ削減できるわけですから、エアコンの消費電力を十分に賄うことができるはずですよ。

**徹底した無駄な電力カットを行い、削減できた電気料でエアコンを使いましょう。**これで節電と健康が両立できると思います。

### ♪ 暑いけど熱い!?

そんな暑い時期なわけですが、今年も暑い時期がやってきます。皆様お分かりですね？ **「もうひとつのWACATE2011 夏」**です！

おそらく別記事にて告知されていると思いますが、ここでも簡単に。

### ■コミックマーケット

日時：2011/8/14 10:00~16:00

場所：東京ビックサイト

東2ホール P-28b 「さーくるWACATE」

詳細：<http://circle-official.wacate.jp/>

当日は新刊となる「Software testing ManiaX vol.5」をご用意してお待ちしております。私もサークルスペースにいると思います。おいでくださった際にはどうぞお声がけ下さいね。あ、差し入れ大歓迎です！(^-^

\* \* \*

### ♪ 三銃士@帝国劇場

7月はとても楽しみにしていた「**三銃士**」が上演開始！ 残念ながら初日には行けなかったものの、早速観劇してきました。(^-^ 三銃士というと人形劇かアニメで世代がわかりますが、(潤色されているものの)ほとんど話は同じです。なので、観劇が始めての人にも優しい演目だと思います。

観劇する前は「英雄譚的な演出をされているかな？」と思っていたのですが、一幕目はわりとコメディ色が強く笑いも結構起きていました。二幕目は流石にシリアスになっていきますが、緩急という意味では良かったかもしれません。が、原作本が好きな人には「もうちょっとハードな方が・・・」という感想を持った人もいますよ。

プリンシパルは豪華ですね。**主役級で固められており、帝劇100周年記念公演と銘打っている力の入れ方がわかります。**個人的には主演の井上芳雄はもちろんとして、三銃士の三人がとにかく濃いメンバで固められていたのが良かったです。私はファンクラブ貸切公演を観に行ったのですが、その日はアドリブも多くてすごく楽しかったなあ。役者もノっててよかったです。

また、セットも予算かかっていたね。おかげでチープさはあまりなかった気がします。二幕の監獄あたりのセットは結構好きでした。色使いで心象を表現していたのが良かったですね。でも、**一番びっくりしたのは銀橋。**宝塚的な使い方はあまりされませんでした。意味もなくテンションがあがりました。(笑)

**初心者にもやさしい演目だと思いますので、夏休みの観劇としていかがかなと思います。**私ももう一回観劇してこよーっと！(^-^

\* \* \*

### ♪ 終わりに

8月はちょっとお休み。DVDや録画した演目を消化することにしたいと思います。〈終〉



# 開運

## 源太郎のソフトウェアテスト占い

※「ソフトウェアテスト占い」とは…  
日本の伝統的な暦で知られる気学(九気性)をもとに、日本古来の統計学とソフトウェアテストで培った時代の統計学を組み合わせ考察された占いである！(笑)

	生まれ年	8月の運勢(8月8日~9月4日)
一白水星	S38/S47/S56/H2	本命星の影響により <b>運気は停滞気味</b> 、なかなか思うように進まぬ月となるであろう。なるべく <b>無益な出費は避けねば</b> 、あとあと心労のもととも成りかねんと心得よ。好機は未だ来たらず、 <b>時には忍耐も肝要なり</b> 。
二黒土星	S37/S46/S55/H1	<b>本月は夏ばてに注意!</b> 中宮に会しているために <b>動かぬことが肝要なり</b> 。周囲との <b>和がはかれず</b> 、不調に暮れてしまう様相もあるので注意すべし! <b>物事の計画は慎重に</b> 万全を期して行動せよ。年盤の影響を受け <b>思いがけぬ出費には注意すべし!!</b>
三碧木星	S36/S45/S54/S63	本月の運気は、衰運とまではいわぬが <b>中運であろう</b> 。乾宮に会しているために、 <b>勇みがちになりやすく</b> 後悔をすることに成りかねぬので <b>注意すべし</b> 。 <b>決断を下す前に自分自身を振り返るべし!</b> <b>手腕を発揮するのはそれからでも遅くないと心得よ</b> 。
四緑木星	S35/S44/S53/S62	本命星の影響により <b>運気は衰運気味になるであろう</b> 。年盤の影響で周囲と上手くいかない時期もあるであろうが、 <b>気長に対応すれば元に戻る</b> 。気持ちを落ち着け <b>我が侭に走らず</b> 、周囲に合わせて進むことが吉なり。 <b>争いごとへの深入りは禁物なり</b> 。
五黄土星	S34/S43/S52/S61	本月は <b>変化・変動も多く厳しい月</b> となるであろう。しかし少々のことには挫けず <b>立ち向かう勇気も必要なり</b> 。 <b>不合理は思い切って改めることを考えよ</b> 。 <b>同じことの繰り返しでは進歩もなからう</b> 。事には、よく <b>和をもって正面から臨むことが吉なり</b> 。
六白金星	S33/S42/S51/S60	本月の運気は盛運とは言えないが、 <b>やっと順調に戻ってくるであろう</b> 。計画中のことは始めてもよし。しかし <b>派手なことは禁物</b> 。 <b>かえって損失を招いてしまう</b> 。 <b>慎重な対応・選択が肝要なり</b> 。 <b>細やかな心遣いを大切にすべし</b> 。
七赤金星	S32/S41/S50/S59	本月は <b>頼まれごとが多くなる</b> が、それは認められている証拠と知るべし。今の苦勞は <b>やがて実を結ぶであろう</b> 。少々の投機も油断なく行えば効果はあるであろう。 <b>無謀な行動は危険が多すぎるので</b> 、 <b>慎重な行動が吉</b> となるであろう。
八白土星	S31/S40/S49/S58	坤宮に会しているために <b>運気はやや平穏</b> なれど、ものごとの <b>進展が遅延がち</b> になるであろう。今一時の <b>忍耐が必要</b> と心得よ。他人の <b>世話を</b> するときは <b>誠心誠意尽くすことが吉なり</b> 。 <b>損をしたように思えても</b> 、いつか自分に返ってくる思うべし。
九紫火星	S30/S39/S48/S57	本月の運気は、 <b>盛運にて願望成就も可能なり</b> 。ただし <b>甘言の多い月でもあるので注意が必要なり</b> 。年盤上で五黄殺の影響を受けているので、 <b>突飛な行動は控えるのが吉なり</b> 。 <b>一つのことに打ち込んでみるのに良い時期</b> 。

月盤二黒土星				年盤七赤金星			
南		暗剣殺		南		暗剣殺	
東	1	6	8	東	6	2	4
	9	2	4	五黄殺	5	7	9
	5	7	3		1	3	8
五黄殺	北			北			

### ◆今月のチェックポイント!

今月は「二黒土星」中宮となり【遅い】【迷い】と卦象の影響により物事「**遅延気味**」になる月なり。今年「七赤金星」中宮であり「二黒土星」とは相性のため、「**実り**」という面も出るであろう。ただしに「二黒土星」の特徴の一つである「**地道**」な努力を積み重ねた上での「**実り**」とするべし。今月は、「**地道な努力**」が「**大きな実り・華を咲かせる**」と心得よ!!

### ★今月のラッキーテストアイテム

二黒は「**母親**」「**地道**」の特徴がある星です。「**母親**」と言えば「**子**」を「**産み**」「**育てる**」ことを思い浮かべます。テストを「**産む**」ものとして「**テストベース**」について、もう一度見直しましょう! 「**テストベース**」を見直して、より良いテストのためには何が必要か、考えてみましょう♪



# 今月のSTAR★

全国のスター☆ファンの皆様、お待たせいたしました！「今月のSTAR☆」です！！

## ◆スター☆もオネムなときもある。

日々激務をこなしながらも余暇を使って僕らを導いてくれるスター☆、さすがに疲れが蓄積しているのか、少し目がとろーんとしていますね。



お。しかしその目の前には…なんと！

おお「目薬」ですね。



# バァァァァン

なるほど。コレをズバツと指してシャキツとするワケですね。

「スタ————ツ！！！」

とオダユージばりに言うのでしょうか。

しかし我らがスター☆は用意周到。さらにゴソゴソとこんな最終兵器までも取りだしました！



# シャキーン☆

「メガシャキ」ですね。

眠たくて・眠たくて・眠たくて！  
メガシャキイ~~~~いいい~~~~♪  
ですね。

<http://www.youtube.com/watch?v=Pm87Vws0Dqg&NR=1>

これですっかりシャキッと…



してない！（ガビーン）

…まあ、そんな時もありますよ！人間なもの！

書いた人：コヤマン



## ❁お知らせ❁

8月31日(日)にWACATE-Magazine vol.33 発行します!(たぶん)

今回は「」をお送りします。

# 来たれ! 投稿戦士!

WACATE-Magazine では“ソフトウェアテストや品質に関する記事”を常に募集中です。  
**来たれ! 投・稿・戦・士!!!**

WACATE-Magazine はボランティアベースで発行されています。したがって原稿料は出ません。※ノーギャラです。  
投稿いただいた原稿の掲載可否、掲載時期については編集部で決定させていただきます。  
特定の商用ツールやサポートなど営利色が強い原稿は原則として掲載いたしません。  
レイアウトなどは全て編集部で行います。また、特に戻り確認などは行いません。  
単なる論文は掲載しません。紙面の雰囲気を読んだ、イイ感じな文体や内容でお願いします。  
公序良俗に反すると思われるものについても掲載しません。

以上を了解した上で、覚悟完了! の方はWACATE-Magazine 編集部「[magazine@wacate.jp](mailto:magazine@wacate.jp)」まで、是非ご連絡ください。  
折り返し、担当より要綱をご連絡いたします。  
楽しい、そして役に立つ紙面にするため、是非ご協力いただければ幸いです♪

## ☆その他、WACATE-Magazine では以下の情報をお待ちしています☆

- 書籍情報(オススメ書籍情報も可)
  - イベント情報(ソフトウェア/品質/テスト関連)
  - 勉強会情報(ソフトウェア/品質/テスト関連ならなんでも)
  - オフ会情報(ソフトウェア/品質/テスト関連)
  - デザート情報(甘いものならなんでも。イカス! やつで。)
- などなど、お待ちしております♪



来たれ  
次世代の  
戦士達よ!!!

WACATE実行委員募集中♪

★★★ WACATE 実行委員募集中 ★★★

### 編集後記

いけどん★Software Testing ManiaX vol.5 出るよ!!  
おたべ★スキートレーニングの一環で、インラインスケート始めました。  
コヤマ★ManiaX 有難うございました! メイドさん可愛かったー♪  
おらかみ★夏ですなあ〜♪ 学校は、夏休みですなあ〜♪ マニアックスの夏ですなあ〜♪

★あくづい★  
2011/08/20(sat)はっこ  
WACATE-Magazine へんしゅつ  
✉[Magazine@wacate.jp](mailto:Magazine@wacate.jp)  
<http://wacate.jp/Magazine/>